

近畿・四国

◇ 大阪支社 ◇
大阪市中央区淡路町 3-2-8
トア第2ビル5F
☎06(6231)8036
FAX06(6231)8039

奈良県黒滝村（辻村源四郎村長）は8月

末、大字寺戸の黒滝小学校と同敷地にある黒滝中学校の教室にLPガスGHPを導入する。アイシン精機製GHP（30馬力）を2台、計60馬力設置し、空調向けに1ノタイプバルク貯槽を新設。LPガス供給はJAならけんが行う。

奈良県黒滝村

小中学校にGHP

バルクも設置 供給はJAならけん



60馬力のGHPを導入する黒滝村立黒滝小学校と同中学校



山下正義氏

黒滝中が旧敷地から黒滝小の敷地に移転した2016年から、一部教室にはEHPを導入している両校。猛暑に対する教育環境整備のため今回、普通と特別の13教室に空調を導入することになった。採用の最大の決め手はトータルコスト。前田博・教育委員会事務局次長補佐は「新たに導入する空調を電気式にする

と、既設のキュービクルの容量が間に合わず、増設が必要になる。キュービクルとその工事、空調設備費と空調工事費の負担を考慮して、GHPを採用した」と話す。

教育委員会は、全国各自治体に配布された導入事例集などからGHPに興味を持ち、先行導入した県内自治体や奈良県LPガス協会などにヒアリング。前田氏は「LPガスでも空調できることを知り選択肢が広がった」と話す。

両校に以前から、湯沸かし器とこる用にガス供給していたJAならけんの山下正義・経済部ホムエネルギー課長は「施設の管理はJAならけんLPガス南和供給センターで行い、集中監視システム『ガスカッチ』を備えている」としている。「年に一回以上の頻度で停電する」という同村。停電対策のためガンリン式発電機を保有するが、使い勝手の良さを考慮し、2・2キボルトのLPガス可搬式発電機も2台備える予定だ。